

「市長と語るまちづくり座談会」意見交換記録(要旨)

開催日時 令和元年7月18日(木)
 開催会場 大王谷コミュニティセンター 参加者数 28名

| 発言内容 | 回答者 | 回答内容 |
|--|--------|--|
| 大王谷校区においても、中学校に進学する際に市外の私立中学に進学するケースがあり、高校入学時にも、延岡の高校に進学するケースが見受けられる。日向市の良さを子どもたちに教えていくことも必要ではないか。 | 市長 | 子どもたちに、ふるさとを知ってもらうことが大切。例えば、日向高校ではフロンティア科の生徒が課題型学習に取り組んでおり、課題解決に向けた研究を通して、日向市を知ることに繋がっている。また、日向市の企業を知るということで、キャリア教育を支援するための教材を市内の中学2年生に配付して、実習の際に活用してもらっている。加えて、市内の高校の魅力向上にも取り組んでいる。 |
| ケアマネージャーに対する利用者からの苦情など負担感が増しており、福祉の現場は戦々恐々としている。また、地域包括ケアシステムにおける会議等で代表者が集まることがあるが、交通費も出ないし無報酬である。福祉は無報酬ではないと思う。 | 市長 | 福祉現場の声を直接聞いている。ケアマネージャーの負担軽減になるよう改善に向けて取り組んでいるので時間をいただきたい。 |
| 自宅周辺のコンビニ等でも外国人労働者をよく見かけるようになった。どの程度外国人労働者がいるのか市に実態を把握してもらいたい。 | 市長 | 誘致企業等で働いている外国人労働者がいることは承知しているが、正確な人数は持ち合わせていない。今後は、外国人労働者が増えると思うので、市役所でも対応する窓口を一本化する必要があると感じている。 |
| 自治会の範囲（境界）と民生委員の担当エリアの区割りの考え方が異なっているが、改善の余地はないのか。 | 健康福祉部長 | 地域によっては、中学校区と民生委員の区割りが異なるところや、自治区と民生委員の区割りが異なるところがある。今期の民生委員の任期が今年11月までとなっているので、新たなメンバーになった後、民生委員が活動しやすい方向で検討していきたい。 |
| 私の区には230世帯あるが、75歳以上の独り暮らし世帯が17軒ある。高齢化率が高く、民生委員をもう1人増やしてほしいと市に要望したが、聞き入れてもらえなかった。職員に「今1人増やすと、この先ずっと2人体制になる」と言われたが本当か。 | 健康福祉部長 | 民生委員の定数変更は県との協議も必要になり、なかなか難しいと考えている。民生委員の仕事が複雑化しているので、協力員制度の導入や各区の福祉部との連携などで民生委員の負担軽減が図れないか検討している。 |
| 独り暮らしの高齢者が施設に入所することで空き家となり、草が伸び放題になる事例がある。安全面でも懸念がある。空き家対策についてどう考えているか。 | 市長 | 全国的にも特定空き家などが問題になっており、将来的には増えていくと考えている。庭の草刈りの件で所有者に連絡を取ろうとしても返答がないケースもある。そのような状況では行政としても対応が難しい。隣近所が対応するというのも難しく、大きな課題であると感じている。 |
| | 建設部長 | 日向市には1,245軒の空き家が存在している。市は「特定空家等の認定基準」を策定し、特定空き家を認定している。認定されると、勧告や命令など強い措置も図れる。所有者が分からない家屋も増えており、認定を行えば所有者の調査もしやすくなるので、認定空き家を無くす方向で措置を講じていきたい。 |

| 発言内容 | 回答者 | 回答内容 |
|---|-----|---|
| ごみ処理を有料化した方が良いと思うがどうか。 | 市長 | ごみ処理の有料化については、議論が熟度を増していない。市議会でも有料化に賛成の方と反対の方がいるので、議論を深めていく必要があると感じている。 |
| 地区内に、ごみ屋敷のようなところがある。住人は独り暮らしだが、コミュニケーションが取れない。悪臭もしている。行政側で強制的にごみを撤去することはできないのか。 | 市長 | 行政が代執行を行うまでには、相応の時間を要する。できればご家族などに対応をお願いすることができないか。それも難しいようであれば、あらためて個別に相談していただきたい。 |

座談会のようす

